

日本の民話

～人生の最初にめぐりあった本『桃太郎』～

平成5年3月23日(火)～4月23日(金)

子供の頃慣れ親しんだ様々な昔話。「むかしむかし、あるところに・・・」という言葉によって導かれ、私たちは、それぞれの心の中に、それぞれのお話を思い描くことが出来るのです。今回の常設展示では、そんな不思議な魅力を持った昔話の中から誰もがよく知っている『桃太郎』を取り上げます。日本各地に広がっている『桃太郎』の昔話は、国内だけでなく、いろいろな言語に翻訳されて海外にも広く伝わっています。また、単に子供の読み物の域に留まらず、時代の変遷によって解釈の仕方が様々で、教育の中にその思想が生かされていた時代もあったようです。

読めば読むほど奥の深いこの話。皆さんも皆さんなりの“桃太郎ワールド”を繰り広げてみませんか？

展示リスト

<>内は請求記号

*翻訳されたもの…1863年に来日した米国の宣教師ダビッド・タムソン等が絵本に目をつけて1. 英訳、2. 独訳、3. 仏訳本を自国に紹介した。

1. 再版桃太郎

『日本昔噺』 第一号 ダビッド・タムソン 訳述

東京 弘文社 1885 9枚

<C-26a>

「ちりめん本」とよばれ、縮緬織の布のように加工されたクレープペーパーに印刷して作られた。

2. Momotaro (桃太郎)

ヘッドウィック＝シプロフ 独訳

東京 弘文社 1889 合冊

<特67-735>

3. MOMOTARO

『日本昔噺』 第一号 J. Doutremer 訳述

東京 弘文社 1885 11枚

<C-31a>

4. Япон зртаклари

Тошкент УзССР Давпат Бадиий

Адабиёт Нашриёти 1958 236p

<895.63-I114>

ウズベク共和国で出版された『日本の民話』

*地方に伝わる民話

5. 実説絵本桃太郎

水曜荘主人 著

所沢 水曜荘文庫 1969 1冊

<KH566-E65>

愛媛のある地方に伝わる桃太郎伝説。

6. 日本昔話大成 第3巻

関敬吾 著

東京 角川書店 1978 362p

<KG745-97>

各地方に伝わる口承の「桃の子太郎」話を紹介している。

*文学にあらわれたもの

7. 日本五大噺

曲亭馬琴 作

東京 文緑堂書店 1901 1冊

<特13-943>

「童蒙話赤本事始」を原著として桃太郎、花咲爺、舌切雀、猿蟹合戦、かちかち山を巧みに組み合わせて動物を擬人化して仕立てた小説。

8. 日本昔話善悪桃太郎

阿部直秀 翻訳

京都 福井源次郎 1869 8枚

<特49-278>

双子の桃を食べたおばあさんから生まれた子供にはなんと2つの頭が付いていた。全く性格の違う2つの頭をもつ桃太郎のお話。本文は英語。

